

5回生 必修科目「英語表現Ⅱ」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	英語表現Ⅱ	単位数	2単位
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。				
教科書	MAINSTREAM English Expression Ⅱ（増進堂）		副教材	Vintage 3 rd Edition 文法編 準拠ドリル Navigator（いいずな書店） Vintage 3rd Edition（いいずな書店） 総合英語 FACTBOOK これからの英文法（桐原書店）	

1 学習の目標

- 習熟度に応じた英語運用のアクティビティを通し、英語を実際に使える訓練をする。
- コミュニケーションツールとしての英語を駆使して、コミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

英語運用の4技能の目標

聞くこと	○主題のはっきりした内容について、重要な情報を理解することができる。 ○身近な話題について、自分の意見と比較しながら他人の意見を聞くことができる。
話すこと	○自分に馴染みのある話題について英語で話し合ったり、出来事などについて英語でやりとりしたりすることができる。 ○相手の質問に対して、ある程度まとまった内容を適切に話すことができる。
読むこと	○複数の段落間のつながりや文章全体の構成を理解できる。 ○英語で書かれた内容について、自分の意見と対比しながら読むことができる。
書くこと	○自分の興味ある話題やものに対して、読み手を意識しながら意見や感想を発信することができる。 ○自分の意見に対して、いくつかの理由を列挙して書くことができる。

2 学習の方法

- 予習について
ただ授業を聞いているだけでは、英語を書いたり話したりはできるようになりません。自分の中に、表現できる「型」をたくさん持つことが、英語を書いたり話したりする基本になります。各文法項目の学習は2周目になりますが、Factbook等を使って、もう一度ポイントとなる文法事項について、予習をして理解を深めてきてください。授業中の説明は少なくしますので、しっかりと予習してきてください。また、MAINSTREAMの各タスクも予習しておきましょう。
- 授業について
『Vintage Navigator』を使って英語をインプットし、作文ができる力を養う授業と、『MAINSTREAM』を使って、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、エッセイライティングなど、アウトプットを行う授業をバランスよく配置していきます。
『Vintage Navigator』を使う授業と『MAINSTREAM』を使う授業ではやり方は異なりますが、インプットした英語を実際に使いながら、より実践的な英語能力を身につけてもらいます。
- 復習について
習った事項を実際に使えるレベルまで高めるために、基本例文を暗唱したり、自分が伝えたい情報や考えなどに置き換えて表現できたりするかなど、確認してみてください。

〈学習アドバイス〉

学習した内容について意見を交換したり、書いてみたりすることで、発展的な力を伸ばすことができます。受け身で学習するだけでなく、教科書のトピックから見聞を広げ、教科書を超越する力をつけましょう。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、英語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身につけているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

(2) 評価の方法（以下観点①～③は「(1) 評価の観点」と対応する）

評価材料 観点	定期考査	Drills	Dictation	Composition	Speaking Output	Writing Output	Other Activities
①関心・意欲・態度	○ 授業中のアクティビティに関する問題、自由英作文等				○	○	○
②表現の能力	○ 英作文、語句整序、自由英作文 等			○	○	○	○
③知識・理解	○ 文法語法問題、教科書題材の背景知識等に関する問題、リスニング等	○	○	○			○

〈担当者からのメッセージ〉

- 頭に入っている英語の「型」を用いて、英語を話したり、書いたりすることがこの授業の目的です。受け身になって「教えてもらおう」という態度ではいけません。授業は英語の基礎トレーニング。ヒットをたくさん打てるようになるために素振りや繰り返し、トスバッティングを行ったりするのと同じことです。Navigator でベーシックな単文を作る練習をして、MAINSTREAM でそれを応用していきます。とにかく英語を使ってみようという態度で授業に臨んでください。
- 定期考査では、主に文法ベースの問題、リスニング、英作文等の問題を出題します。そのほかにも授業中にパフォーマンステストを行います。

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探究心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強くしなやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重
関心・意欲	問題発見力	情報収集力	論理的思考力	共感的態度	意見交換・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心を持ち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係性を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感することができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることがなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さと健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体を持ち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着を持ち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考查等	資質・能力
4	Navigator 第1章～第3章	時制、受動態、助動詞を中心に学習する。	①ペアワークやグループワークに積極的に参加し、意欲的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。	1 学期中間考査 実力テスト	ABCDF
5	MAINSTREAM Lesson 2～3 言語	自分のことなどについて英語で書き、スピーチをする。効果的なスピーチの工夫について学ぶ。	②時制、受動態、助動詞に注意を払いながら、紹介文を話したり書いたりできる。		
6	Navigator 第4章～第6章	仮定法、不定詞、動名詞を中心に、より広い動詞表現を学ぶ。	③時制、受動態、助動詞の各種表現方法を理解し、使用することができる。		
7	MAINSTREAM Lesson4～6 言語 食料	思い出の品について、英語でまとめ、プレゼンテーションをする。日本や世界のある地域について調べて発表する。	①ペアワークやグループワークに積極的に参加し、意欲的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。		1 学期期末考査
8		視覚資料を使うなど、プレゼンテーションの方法を工夫する。	②学んだ表現を用いて、グループで協力してプレゼンテーションができる。		
9	Navigator 第7章～第9章	分詞・関係詞・接続詞について学び、表現の幅を広げる。	③仮定法、不定詞、動名詞などについて、各種表現方法を理解し、使用することができる。		
10	MAINSTREAM Lesson 7～8 言語 食料	電子メールの是非や、地球のためにできることなどについてディスカッションをする。	①情報や考えなどについて、英語で話し合ったり意見の交換をしたりできる。	2 学期中間考査 実力テスト	ABCDF
11	Navigator 第10章～第12章	賛成、反対の意見を述べるときの表現について学ぶ。話し合ったことをもとに自分の意見を英語でまとめる。	②学んだ表現を用いて、社会的な視点を持ち、自分が伝えたいことについて意見や理由を書くことができる。		
12	MAINSTREAM Lesson 9～10 言語	前置詞、比較、主語と述語動詞の一致などについて学び、文法のしくみを理解しながら英語で表現する。	③分詞・関係詞・接続詞の表現などについて、表現方法を理解し、使用できる。		
1	Navigator 第10章～第12章	前置詞、比較、主語と述語動詞の一致などについて学び、文法のしくみを理解しながら英語で表現する。	①多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べることができる。	2 学期期末考査	ABCDF
2	MAINSTREAM Lesson 11 言語	英語が公用語であるべきかどうかや、遺伝子組み換え食品の是非などの問題について、ディベートをする。その内容をふまえて、自分の意見を英語でまとめる。	②学んだ表現を用いて、社会的な問題について、立場を決めて自分の意見を英語で書くことができる。		
3		疑問文、否定、語順、話法などについて学び、表現する。	③前置詞、比較、主語と述語動詞の一致について、各種表現方法を理解し、使用することができる。		
	Navigator 第10章～第12章	疑問文、否定、語順、話法などについて学び、表現する。	①多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめることができる。		
	MAINSTREAM Lesson 11 言語	現代社会において、課題となっていることについて、自分で調べたことをもとに、意見を書く。エッセイの書き方について学ぶ。	②学んだ表現を用いて、社会的な問題について、立場を決めて自分の意見を英語で書くことができる。		
			③疑問文、否定、語順、話法について、各種表現方法を理解し、使用することができる。		

※ 評価の観点①は関心・意欲・態度、②は表現の能力、③は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。